

★知識の整理★

【1】原点のまわりの回転

複素数平面上の異なる3点  $A(\alpha)$ ,  $B(\beta)$ ,  $C(\gamma)$  に対して，半直線  $AB$  から半直線  $AC$  へ測った角を  $\angle BAC$  と表す。

$\angle BAC = \theta$  で， $AC = kAB$  のとき，点  $C$  は，点  $B$  を点  $A$  のまわりに  $\theta$  だけ回転し，点  $A$  からの距離を  $k$  倍した点であるから，次の式が成り立つ。

$$\gamma - \alpha = k(\cos \theta + i \sin \theta)(\beta - \alpha) \quad \cdots \textcircled{1}$$

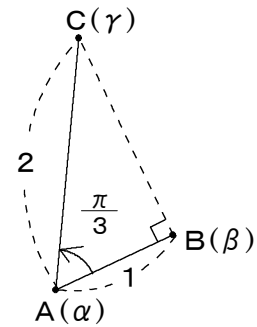
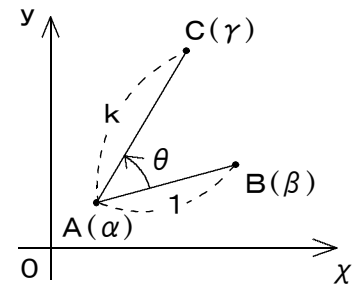
(例) 3点  $A(\alpha)$ ,  $B(\beta)$ ,  $C(\gamma)$  に対して，

$$\gamma - \alpha = (1 + \sqrt{3}i)(\beta - \alpha)$$

が成り立つとき，

$$\gamma - \alpha = 2\left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3}\right)(\beta - \alpha)$$

と変形できるから，点  $C$  は，点  $B$  を点  $A$  のまわりに  $\frac{\pi}{3}$  だけ回転し，点  $A$  からの距離を2倍した点であることがわかる。



【2】商の極形式

3点  $A(\alpha)$ ,  $B(\beta)$ ,  $C(\gamma)$  が与えられたとき，①より，

$$\frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = k(\cos \theta + i \sin \theta) \quad \cdots \textcircled{2}$$

【3】 $A, B, C$  が一直線上にある条件

3点  $A(\alpha)$ ,  $B(\beta)$ ,  $C(\gamma)$  が一直線上にあるのは， $\theta = 0$ ，または， $\theta = \pi$  のときであるから，上の②より，次のことがいえる。

$$3 \text{ 点 } A, B, C \text{ が一直線上} \iff \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} \text{ が実数}$$

たとえば， $z = \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = k(\cos \theta + i \sin \theta)$  とおくと，

(1)  $\theta = 0$  のとき，

$$\begin{aligned} z &= k(\cos 0 + i \sin 0) \\ &= k(1 + 0) = k \quad (\text{実数}) \end{aligned}$$

(2)  $\theta = \pi$  のとき，

$$\begin{aligned} z &= k(\cos \pi + i \sin \pi) \\ &= k(-1 + 0) = -k \quad (\text{実数}) \end{aligned}$$

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【平面図形と複素数 No. 7 (1/6)】 - (2枚目/2枚)

➡ (前のページからのつづき)

【4】 2直線 AB, ACが垂直になる条件

2直線 AB, ACが垂直になるのは,  $\theta = \frac{\pi}{2}$ , または,  $\theta = -\frac{\pi}{2}$  のときであるから, 上の②より, 次のことがいえる。

$$2 \text{ 直線 } AB, AC \text{ が垂直} \iff \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} \text{ が純虚数}$$

たとえば,  $z = \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = k(\cos \theta + i \sin \theta)$  とおくと,

$$(1) \theta = \frac{\pi}{2} \text{ のとき,}$$

$$\begin{aligned} z &= k \left( \cos \frac{\pi}{2} + i \sin \frac{\pi}{2} \right) \\ &= k(0 + i) = ki \quad (\text{純虚数}) \end{aligned}$$

$$(2) \theta = -\frac{\pi}{2} \text{ のとき,}$$

$$\begin{aligned} z &= k \left\{ \cos \left( -\frac{\pi}{2} \right) + i \sin \left( -\frac{\pi}{2} \right) \right\} \\ &= k \{ 0 + (-i) \} = -ki \quad (\text{純虚数}) \end{aligned}$$

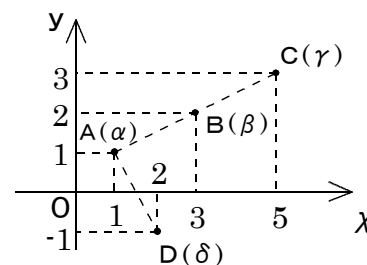
(例)  $\alpha = 1 + i$ ,  $\beta = 3 + 2i$ ,  $\gamma = 5 + 3i$ ,  
 $\delta = 2 - i$  の表す点を, それぞれ, A, B, C, D とするとき, それぞれどのような位置関係にあるか調べてみよう。

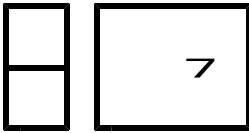
$$\frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = \frac{4 + 2i}{2 + i} = 2 \quad (\text{実数})$$

したがって, 3点 A, B, C は一直線上にある。

$$\begin{aligned} \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} &= \frac{1 - 2i}{2 + i} \\ &= \frac{(1 - 2i)(2 - i)}{(2 + i)(2 - i)} = \frac{2 - i - 4i - 2}{5} = \frac{-5i}{5} = -i \quad (\text{純虚数}) \end{aligned}$$

したがって, 2直線 AB, AD は垂直である。





第2章 複素数平面 2・平面図形と複素数

1 平面図形と複素数 (その5)

(2/6) ■ 2直線のなす角③ ■

◇ 《一直線, 垂直になる条件》 **学力化** → / .

★解法の技術★

$\alpha = -1 - i$ ,  $\beta = i$ ,  $\gamma = a - 2i$  とし, 複素数平面上の3点を  $A(\alpha)$ ,  $B(\beta)$ ,  $C(\gamma)$  とする。ただし,  $a$  は実数の定数とする。

- (1) 点を  $A$ ,  $B$ ,  $C$  が一直線上にあるように,  $a$  の値を定めよ。
- (2) 2直線  $AB$ ,  $AC$  が垂直であるように,  $a$  の値を定めよ。

【考え方】複素数平面上において, 異なる3点  $A(\alpha)$ ,  $B(\beta)$ ,  $C(\gamma)$  がある。このとき,

$$3 \text{ 点 } A, B, C \text{ が一直線上} \iff \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} \text{ が実数}$$

$$2 \text{ 直線 } AB, AC \text{ が垂直} \iff \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} \text{ が純虚数}$$

よって, あらかじめ,  $\frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha}$  を  $a + bi$  の形で表しておき, そのあとで(1), (2)を解く。

◀  $z = x + yi$  において,  
 $y = 0$  ならば,  $z$  は実数  
 $x = 0$  かつ  $y \neq 0$  ならば  
 $z$  は純虚数

[答 案]

$A(\alpha) = A(-1 - i)$ ,  $B(\beta) = B(i)$ ,  $C(\gamma) = C(a - 2i)$  より,  
 3点  $A$ ,  $B$ ,  $C$  は, 全て異なることはあきらかである。

$$\begin{aligned} \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} &= \frac{(a - 2i) - (-1 - i)}{i - (-1 - i)} = \frac{a + 1 - i}{1 + 2i} \\ &= \frac{(a + 1 - i)(1 - 2i)}{(1 + 2i)(1 - 2i)} = \frac{a + 1 - i - 2ai - 2i - 2}{1 + 4} = \frac{(a - 1) - (2a + 3)i}{5} \\ &= \frac{a - 1}{5} - \frac{2a + 3}{5}i \quad \dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

▲分母の実数化

(1) 3点  $A$ ,  $B$ ,  $C$  が一直線上にあるための条件は,

①が実数となることであるから,  
 $2a + 3 = 0$  より,  

$$a = -\frac{3}{2}$$

(2) 2直線  $AB$ ,  $AC$  が垂直であるための条件は,

①が純虚数となることであるから,  
 $a - 1 = 0$  かつ  $2a + 3 \neq 0$  より,  

$$a = 1$$

